



START

校長先生防災講話「未来をひらく」



昨年度のマップをもとに話し合い



令和7年度 石巻市立湊中学校2年生

育てよう 命を守る 防災マップ



地区別に地域の特徴を話し合い

マップの
WEB版は
こちらから



地域を知る

～7/30 カムチャツカ沖地震における津波警報発令からの湊地区の考察～

人流データ分析



石巻専修大学
小松真治先生による授業



ハザードマップを読み解く



街歩きに向けて防災オリエンテーション



湊地区地域コーディネーター
蟻坂隆様による講話



石巻防災アドバイザー
村山良之先生による講義



クロスロードゲーム石巻版

石巻市立湊中学校 育よう石巻湊地区命を守る防災マップ

東町 湊松並
魚津 伊原
鹿津 妻



石巻市立湊中学校 育びよう石巻湊地区命を守る防災マップ

● 洪水 ● 内水 ● 津波 ● 避難所

不動町・八幡町・湊町
吉野町・御所入

指定緊急避難場所
逃げる

指定避難所
泊まる

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

© Open Street Map

復興防災の育びよう命を守る石巻湊防災マップ

1/30の経過
7月30日現在
2015年7月
避難行動の分析
1/30の経過
一人ひとりの学び



湊地区防災連絡協議会
川並 秀五郎さん
松林 秋男さん

Q1 停電になった時の対応について

Q2 7/30の避難状況について

- ・70名程度が避難してきました。
- ・17時頃まで避難しており、水の配給をしました。
- ・7-ラーヤトイレはなく、せんぷうきを用いました。
- ・あくまでも緊急避難所のための、食料の備蓄も少ないがありません。

Q3 避難者が持ってきたほうがよいものを教えてください。

- ・食料をご用意してください。

Q4 震災を知らずい世代が受け継ぐ側としてできることは何でしょうか

- ・問題意識、そして常に自分事として考えてほしいです。
- ・車は生活の一部としてなくてはならないものだと考えています。そのため、今後、避難なくてはいけない状況になったら、道交各の決断解除のため、誘導の要望をたしています。
- ・トイレはとて大切な問題です、水道がつかえない時でも、安心できる環境づくりが大切です。
- ・11月の中防災訓練では、ケカの対応について訓練を行います。
- ・AEDの設置について、ぜひ設置してほしいです。



湊地区防災連 川並さん
 松林さん

- ・停電になった時の対応について
- ・7/30の避難状況について
- ・避難者として考えるべきこと
- ・これから私達が考えるべきこと

9/16 撮影



湊地区防災連絡協議会
大崎 春男さん

・避難行動の際に事前に知っておくべきポイント

- ・季節によって危険性がかわることを考えておくことが大切だと思います。(スズメバチやクマの出没とか、当地区の特徴を知ることが大切)
- ・避難する場所の周辺情報、また、避難場所まで行く経路の危険性について知っておくことも必要です。

・災害に強い町づくりを目指しています。

- ・避難性の必要のない町づくりを目指しています。普段の生活でも、使える地物を避難場所にしていきたいです。(避難タワーをふだんから集える場所として考えていきたいです。)
- ・地区の人達、みんなが声をかけあえる環境づくりをふだんから考えています。



湊地区防災連
 大崎さんのお話

- ・避難行動のポイント
- ・災害に強い町づくりについて

9/26 撮影

石巻市防災アドバイザー
村山 良之先生



東北大学災害科学国際研究所 村山 良之 先生のお話
 「湊地区における2023年7/30の津波避難」
 ・湊地区における緊急避難場所について、この津波発生から避難の仕方や避難先について明らかになったことは何か。
 ・7月30日(土)の地区(湊地区)の記録して避難行動の概要を明らかにしよう。



11/26
人流データからよみとく

～湊地区の7/30の避難行動について～
 石巻専修大学 小松先生



9/16・9/26

防災街歩き

湊地区防災連の皆様と



湊地区防災連絡協議会 石森山俊さん

・災害時の避難行動について

- ・自分が今いる場所から一番近い高い場所を目指しましょう。津波なら、海に向かっていくのではなく、遠くへけることを考えましょう。
- ・周囲の情報を自分で把握しておくようにしましょう。防災マップを自分のものとするよう常に考えましょう。

・避難訓練の重要性について

- ・決められた流れを大らかにしながらも、臨機応変に、自分で考えて行動しましょう。
- ・訓練に真剣に取り組むことで落ち着いて行動ができる。



湊地区防災連 石森さんのお話

9/26 撮影

- ・災害時の避難行動について
- ・避難訓練の重要性について



湊地区防災連絡協議会 水野隆雄さん

・この地区の特徴

- ・周囲約1km四方の平地で、震災前は約320世帯、人口700名、専業主婦数70を越える地区でした。
- ・昭和47年頃の開発により誕生した地域です。
- ・国道398号線の南側の一部で、この頃は一部住宅がいましたが、ほとんど田舎で、湊二小(1979年開校)、湊中へ登校するまで、あぜ道の中を行くような時代でした。

・2011年3月11日の地区の様子

- ・当地区では49名の尊い命を失いました。
- ・津波に追いつけられずに2階へ避難した方、高い所へと避難し、はやくに避難された方は、近隣の山の方面へ決滞にあいながら逃げました。

・2025年7月30日、津波警報発令時の地区の様子

- ・地震がなく、津波到達までに時間があったため、避難の判断に余裕がありました。
- ・車での移動が多かった。(高齢者は自宅にいた人もいと考えられる)
- ・避難された方は、自宅2階や近隣の建物、高台の方へむかされた方もいるようです。
- ・天気状況や発生時間帯等、環境がかわれば、避難方法の判断もかわってくると思われ。



湊地区防災連 水野さんのお話

- ・この地区の特徴
- ・2025年7月30日の地区の様子、避難行動について

湊地区地域コーディネーター 蟻坂隆さん



湊地区CS. 蟻坂隆さんのお話

- 「7.30 みなと荘での避難で考えたこと」
- ・それぞれ一人ひとりがどのような行動をしたのか検証してほしい。
- ・避難を17分程度早く避難した。どのようにするか、持ち物の確認も避難時の検証について考えてほしい。
- ・安全な避難経路の確保について考えてほしい。



